

No 15	光市立光井中学校
調査研究名	学校と地域の連携による教育活動の推進
調査研究計画	1 地域人材・素材を生かした授業の推進 総合的な学習の時間(光梅タイム)の講師のデータベースをより充実したものにし、学校のニーズに合った学習ができるようにする。 2 校内研修会4回(コミュニティ・スクール) 講師の招聘や研修視察復伝等を中心に、コミュニティ・スクールに関して、教職員の共通理解を行う。 3 研修視察 地域の人材を活用した授業(ゲストティーチャー)の取組や地域開放スペース、学校支援ボランティアの活動の様子を把握する。 4 生徒会を中心としたボランティア活動の取組 自治会や公民館との連携(学校・地域が必要とするボランティア)を行う。 5 学校と地域を結びつける効果的な広報活動と情報提供 学校便りやホームページ等をより工夫する。また、運動会・文化祭・参観日(みついの日)等にも工夫を凝らし、地域住民が学校に行きやすい環境をつくる。
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法	
コミュニティ・スクール研究集録を作成し、近隣校へ配布する。また、ゲストティーチャー(地域の人材)を活用した総合的な学習の時間(光梅タイム)の取組について、実践を紹介する。	